

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床支援技術学		講義	遠藤 宏和	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
内視鏡業務（検査及び治療）、心臓カテーテル業務（検査・治療）など臨床工学技士が医療現場で求められる支援技術を理解し、チーム医療の中で果たす役割を学ぶことで、実践的な対応力と専門的知識を習得する。				
授業の到達目標				
医療現場における臨床工学技士の支援業務を理解し、各種機器操作、管理など安全で的確な対応ができる能力を身につける事を目標とする。				
授業計画				
回	内容			
1	臨床支援技術に必要な実践的な基礎知識・内視鏡の基礎と種類			
2	内視鏡検査（臨床的病態・システムと関連機器、薬剤）			
3	内視鏡検査（上部・下部）			
4	内視鏡治療（EMR・ESD・カプセル内視鏡）			
5	内視鏡機器の保守管理・トラブル対応			
6	手術支援ロボット			
7	心臓カテーテルについて（準備、チーム構成と役割、関連機器）			
8	心臓カテーテルについて（検査法）			
9	心臓カテーテルについて（各種デバイス①）			
10	心臓カテーテルについて（各種デバイス②）			
11	心臓カテーテルについて（合併症・術後管理）			
12	輸液ポンプ・シリンジポンプ（作動原理・種類・用途）			
13	輸液ポンプ・シリンジポンプ（操作・警報）			
14	輸液ポンプ・シリンジポンプ（保守管理・トラブル対応）			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
最新臨床工学講座 医用治療機器学		篠原一彦	医歯薬出版	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				